

第19回遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討協議会会議録

- 日時 令和3年8月5日（木） 午後3時00分
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容 以下のとおり

1 開 会

<事務局>

第19回遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討協議会を開催いたします。

本日の会議には、横田委員、小林委員、橋口委員、本田委員、藤江委員、井上委員、高橋委員、平間委員、藤田委員から欠席の御連絡をいただいております。

また、本日、内観の説明がありますので、これまで和室部分に関わって頂いております茶道連盟が出席しますので御報告いたします。

2 報 告

(1) 建設工事の進捗状況について

説明：石本建築事務所 川上 氏

説明要旨
外壁部分の雰囲気に分かってくるようになってきました。 完成まで皆さんと一緒に確認し合っ、よい物を造っていければと思います。 8月の今の状況は、でき形全体の約7割程度に差し掛かってきております。外壁が見えてきていますが、足場が外れて全体が見えるようになるのは9月～10月くらいとなります。 現在の工事内容は、外壁に塗装したり、ガラスを嵌めたり、内装、天井の下地を貼ったりしています。あと大ホールの吊り物、幕等を動かす舞台機構が始まってきています。これから多種多様な工事が完成に向けスタートしていきます。 工程は予定通りに進んでおりますので、これからも気を引き締めて工事を進めていきたいと考えております。

【意 見】

発言者	内容
委員	なし

3 議 題

(1) 内装及び内部色調等について

説明：石本建築事務所 川上 氏

説明要旨
内装のコンセプトを説明し、重要な各諸室の内装、色調、そして材料について説明させていただきます。材料については紙面で確認できますが、サンプルを準備しましたので、実際の色、材質等を見ていただければと思います。

全体のコンセプトとしまして、町民の方々全ての人に開かれた施設を念頭に置き、内装材を「明るく温かみを感じる」を基本に材料や色を考えました。開かれた印象を持つ明るい白を基調とし、シルバー、ベージュといったアースカラーを組み合わせ全体ベース色とし、木材を使用して、素材を引き立たせ全体として統一感のある施設に仕上げました。アクセントカラーとしまして、黒曜石からヒントを得まして黒を選んでいきます。この黒を所々に追加しているのも特徴の1つです。鮮やかな色を使わず、建物の主張をしないように、利用者が主役となるように内装の色をまとめていきたいと思っております。

その他に長く使っていただく施設となるので、経年劣化に耐えうる耐候性、耐久性を持った素材を選んでいきます。例えばホワイエに使用するタイルカーペットは原着ナイロンを採用し、経年劣化による色褪せがしにくい素材を選んでいきます。

大ホールから説明いたします。大ホールは色彩を抑えた構成を考えております。落ち着いた色を使用することで、他とは違う空間を創出すると考えております。ホール上段部分の壁に木リブを横ストライプ調に施し、ピアノの響板を模してまいります。この木リブは吸音性能、反射性能を計算し配置するため、音をやわらかくする効果があります。ピアノ響板の約7割は北見木材で造られていまして、多くの人に知ってもらえる機会になればと思っております。ホール下段部分の壁は腰壁と言いまして、この部分は遠軽町産木材を使用しております。この木材にはストーリーがありまして、東京オリンピックの開会式に木製の五輪が登場しました。アナウンスではオリンピック展示林としか紹介されませんでした。あれは遠軽町産オリンピック展示林を使用しております。前回の東京オリンピックの時に世界各国から集まった種は日本各地に配布され、その後しっかり管理されていたのが遠軽町だけであり、その木をオリンピックミュージアムの建材に使用され、木製五輪に採用されたメモリアルな木材です。このオリンピック展示林を大ホールの皆さまが見える腰壁の位置にしてはどうかと選定しました。

各諸室の色調についてはそれぞれ説明させていただきます。

まずは大ホールの色調について説明させていただきます。A案、B案、A'案の3案を提案いたします。A案は黒の背もたれと、赤のファブリックで構成しております。座面の赤色は世界的にも多く採用されている色です。諸説ありますが赤色は演者が高揚感を高める色と言われています。あとは特別感や高級感を味わえる色として、赤と黒の組み合わせの色調を提案させていただきます。

続いてB案の説明をします。こちらは全体の色調を統一して、背もたれの部分を木の色とし、座面の色はコスモス色を選んでおります。A案、B案の違いは後ろから見たとき、A案は背面が黒、B案はオリンピック展示林に近い色を使っております。A案は高級感、高揚感を演出し、B案は全体の統一感を演出した提案となります。もう一つA'案を持ってまいりました。A'案はA案をベースにオリンピック展示林を使用している腰壁部分の色を濃い目にしたのがA'案となります。

腰壁のオリンピック展示林のそのままの色は明るい色です。明るい色ですと、照明を落としても演者が明るく感じ、機能面から言っても明るさを抑えた色が良いと思っておりました。そこで色を抑え木目を活かせる色を工夫しまして選びました。

冒頭で紹介しました違う空間を創出するという考えから、利用する皆さんが特別感を持ち、オリンピック展示林を活かしたホールとして考えております。

実際にあるホールの写真を用意しました。右側の写真のホールの色が近い色になると思っております。

次に小ホールの説明をいたします。小ホールは平面の床になります。小ホールは奥に見えるガラス面のある交流ホールと一体に使用できます。小ホールと交流ホールの床面積を足すと、現在の福祉センター大ホールと同等の広さとなります。小ホールは多目的に利用できるホールです。その仕掛けとして天井部分全面に格子状のバトンがあります。このバトンを使い看板の設置、装飾、照明等、様々な場所に付ける事ができます。また、一部バトンは電動で昇降ができます。ステージを設置して昇降するバトンを使用することができます。下のパースの手前部分になります。壁については吸音性に優れた素材、床については温かさを感じられる木目調のビニール床シートを採用させていただいています。もう少し細かく説明します。壁についてですが、限られた空間の中で、講演会、演奏会、発表会等の音が聞こえづらくなる現象があります。パースに有孔、無孔と書かれていますが有孔のボードを使うと音を吸収します。音を吸収すると音が明瞭に聞こえやすくなります。音のシミュレーションを行い、有孔の必要面積を計算しまして配置しております。そしてデザインに関しましても、横基調のデザインを採用していますので、有孔と無孔のボードで層を演出しています。

小ホールの色調は3案用意いたしました。A案はバトンの色が黒、B案はバトン色が白です。B案の白バトンにすると天井がしっかり感じるすることができます。バトンは利用する方の手助けをするものです。よく黒子に徹するという言葉を聞くかと思いますが、バトンも黒子に徹する意味があると思います。そこでバトンの色はA案の黒を推奨したいと思います。もう一つC案を用意しました。C案は壁にグレーを採用し暗いイメージとなります。やはり様々な催し物がある部屋なので白の明るい空間がよいかと思います。

続いてホワイエの説明に入らせていただきます。ホワイエはホールで行われる幕間の時、演目を見に来た人の休憩の場として利用されます。遠軽町のホワイエは演目が無くても利用できる空間を持ち合せています。岩見通側にホワイエの顔を持ってきて、賑わいを創出する狙いをもって案を考えてきました。床は磁器質タイルを考えておりまして、カーペットより高級感があります。明るさを出すため白色タイルをおすすめしたいと思います。このタイルはしっかり滑り防止ができるタイルとなっています。壁については雰囲気を出すため左官系の素材を採用しています。左官が持つポコポコ感、素材の陰影が見える壁となります。天井はホワイエでガヤガヤする音が吸収できる素材を選定しています。人がしゃべる周波数を吸収し会話が聞こえやすい空間を作ります。もう一つこの空間の目玉になるのが、パースの左側に見える木目調のルーバーがあります。これはガラスのカーテンウォール、ガラスを支えるもので、遠軽町産材の木材を使用します。ホワイエの色調の案をお持ちしました。A案はコンセプトに合わせ明るい白系を基調とした空間の案となります。B案は壁がグレー系としていまして、全体的に引き締まった空間になっています。A案よりは暗いイメージになります。C案はベージュ系の色を採用し、温かみがある空間となっています。先ほど示しました木材ルーバーを引き立たせるには、白基調とした方がよいかと思います。それぞれの素材が際立つ色調になります。

続いて共用空間になります。こちらは様々な人が訪れる空間としてニュートラルな色調、白、グレーを考えています。まずは1階交流ホールです。先ほどの小ホールと繋がって使用できる場所です。交流ホールの普段の使われ方は、お子さん、親子で自由に遊べるスペースとなります。床に使われるビニール床シートは少し厚みがあるものを選定しております。お子さんが転んでも柔らかい素材となっています。ガラス面に木材を使用しまして全体の構成をしております。

続いて多目的室です。パース上段をご覧ください。正面にホワイトボードがあり講習会や会議等に利用ができます。そして左側にもホワイトボードがあります。利用用途に合わせて縦使い、横使いができるようになっていました。更には、スライディングウォールを無くすと、下段のパースのように人数が多い場合は多目的室3、4と合わせて使用することができます。左側にガラスがありますが、こちらは廊下側になります。廊下を歩いている人が中で講習会等の催し物を感じ取れる仕掛けとなっています。ガラスの透過率は100%にするか、50%にするか調整して、これから決めていきたいと思います。

最後になりますが和室について説明させていただきます。詳細な図面が出来上がりましたら、利用いただく茶道連盟のご意見を伺いながら内容を詰めていきたいと考えております。パースを見ていただき、こんなイメージということでご覧ください。天井は木目調の化粧石膏モードを採用し、壁は和室に多く使用される聚楽（ジュラク）壁系のクロス、床材は何パターンかありますので今後詰めていきたいと思います。

以上、主要の部屋の材質の考え方、色調の考え方について説明と提案をさせていただきました。委員の皆さまの意見を伺いたいと思います。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	まずはホワイエですが、ABCの3案があります。ホワイエの正面が東向きで夕日が入るのが狭い感じになっています。全体像が明るいイメージと明記してありますが、案の考え方はどのようになっていますか。
石本建築	ホワイエは東面を向いています。朝から午前中は日差しが入ってきます。そこで1つ狙いがありまして、木ルーバーから入る木漏れ日を感じてほしいと考えました。そこを踏まえて遠軽町産の木材と室内のコントラストを感じてもらえるのは白基調とした壁がいいのではないかと考えています。
宮崎副会長	床材のタイルはどのようなタイルですか。
石本建築	磁器質タイルです。
伊藤会長	冬場のスパイクでキズは付きやすいのか。
石本建築	スパイクもそうですが、女性のハイヒールに注意して床材を選定しました。キズ付きにくい素材を考えました。
茶道連盟	靴に付いた雪で滑りやすくないですか。デパート、コンビニ等滑りやすいです。
石本建築	風除室に厚めの水を吸い込むカーペットを引きます。そこである程度の雪を落してもらえれば、あと磁器質タイルですが、プールサイドに使われる素材ですので、滑りにくくなっています。2階はタイルカーペットを使用します。
本間委員	白基調はメリハリが無いイメージです。
石本建築	左官職人さんが手作業で塗ります。横線が入りますので、凹凸で陰影が入ります。パースよりは実際少し暗く感じると思います。
伊藤会長	空間の明るさでは白のA案、B案のグレーは暗く感じます。暗いイメージよりは明るいA案がいいと思いますが、皆さんどうです。

委員	異議なし
伊藤会長	では大ホールに進みます。 椅子の色について意見あります。
平野委員	椅子の背面は黒が引き立つのでいいと思います。
石本建築	黒は引き締める効果があるので壁面と見比べても引き立ちます。
宮崎副会長	A案がいいと思います。
伊藤会長	壁の色はどうか。
石本建築	A案は少し明るめの色です。木目、節が見えるUV塗装をするので経年劣化がしづらい塗装です。A'案は少し色を落した塗装をします。
大西委員	A案の白っぽい色よりは、茶の方が高級感はあると思う。
石本建築	実際は照明の明るさを落とすので、パースで見るとはそこまで白っぽくは見えなと思います。
伊藤会長	暗い色より明るい方は、上の反響板の味が出ると思います。
高桑委員	A案の壁が明るい方は椅子が際立つ。
伊藤会長	A案の意見が多いようですがどうですか。
委員	異議なし
伊藤会長	続いて小ホールに進みます。
宮崎副会長	ステージは動きますか。
石本建築	備品なので決まっていますが、そのようなステージを置くことができます。天井に格子のバトンがありますので色々な形に合わせた催し物ができます。
宮崎副会長	収納場所がありますか。
石本建築	すぐ横に倉庫があります。
伊藤会長	意見は無いようですがA案でいいですか。
委員	異議なし
伊藤会長	交流ホールと多目的室はニュートラルという事ですけど意見ありますか。
委員	なし
伊藤会長	最後に和室ですが茶道連盟が来ていますので意見を聞きたいと思います。
石本建築	補足で説明いたします。パース上段が和室1で、下段和室2・3となります。和室2・3は襖を外して一室で使用することが可能です。 詳細は後日、茶道連盟と打合せを行い、できる限りの対応はしたいと思いますので、本日は和室の色調の意見をいただければと思います。
茶道連盟	北見の芸術文化ホールに表千家の茶室があります。そこでは表千家、裏千家の講習会が行われています。規制が厳しくなり炭が使用できない施設が増えてきました。茶道には厳格な決まり事がありまして、茶室として使えなければ講習会等ができません。茶道はお手前として炭を使用していますので、焼き肉の炭のような使い方はしません。炭手前として少しの炭でお香を焚く事をします。無理は言えませんが、できれば炭の使用ができればと思っております。

石本建築	電気と炭を両方使用できる炉を予定しています。現在換気性能について計算しておりますので、いい方法を考えております。
------	--

3 その他

発言者	内容
伊藤会長	委員の皆さまからありますか。 次回開催について事務局からお願いします。
事務局	次回会議につきましては、案件がありましたら随時開催したいと思っております。 現場の見学は足場が外れて、暑くない時期になりましたら見学をしたと思っております。

4 閉会

(午後4時50分 閉会)

第19回遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討協議会 出席者一覧

区分	氏名	団体名等	備考
委員	伊藤 榮三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	宮崎 良公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	本間 克明	遠軽商工会議所	
委員	秋田 博	えんがる商工会 代理 樋口事務局長	
委員	平野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	大西 定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	高桑 健次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
関係団体	留田 彰恵	遠軽茶道連盟	
	川瀬 恵子	遠軽茶道連盟	
事務局	佐藤 祐治	総務部長	
事務局	今井 昌幸	総務部企画課長	
事務局	林 幸司	総務部企画課企画担当係長	
オブザーバー	水野 徹	教育部社会教育課長	
オブザーバー	中南 秀隆	教育部社会教育課主幹	
オブザーバー	井上 隆広	経済部建設課長	
オブザーバー	菊地 浩之	経済部建設課建築担当係長	
オブザーバー	羽根田 友宏	経済部建設課建築担当	
工事監理者	向山 松秀	石本建築事務所顧問	
工事監理者	川上 義人	石本建築事務所建築グループ主任	
計	19名		

欠席

区分	氏名	団体名等	備考
委員	横田 昌弘	遠軽町文化連盟	
委員	小林 昌樹	えんがる町観光協会	
委員	橋口 理教	遠軽青年会議所	
委員	本田 ちづ子	ダンス教室 ami : Φアミウ	
委員	藤江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	井上 幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	高橋 利明	北見地区吹奏楽連盟副理事	
委員	平間 喜弘	遠軽がんぼう太鼓同好会	
委員	藤田 正明	一般公募、遠軽地区連合会	